



富士見市立西中学校 西中だより 5月号 #2 (鯉のぼりは逆風に泳ぐ!)

みずほの丘の希望

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

令和6年5月1日
第2号
生徒数/402名
文責/堀川博基

新入生...今年は桜の下で写真を撮影できました!



入学式、初学活緊張していました...



スタートの5日間...やることすべてが中学校生活初の体験です



写ってるのは2年生です

1・2年生も新たなスタートに気合いが入ります!



1年生の掃除と給食、2・3年生が混ざって手伝いをしています

■新1年生127名、緊張の中にも元気に中学校生活のスタートが切れたようです。桜の中での入学式、緊張の自己紹介、少し量が多くなった給食、重い教科書の搬入、自分の成長を確認する身体測定...、どれも期待をいだかせる中学校生活のスタートでした。緑ジャ「Greeneピース」がどんなストーリーを紡いでくれるのか楽しみです。

■新2・3年生も成長しています。自己紹介や学級目標の設定等、もう自分たちだけで決定できます。1年生の給食や清掃、2・3年生が支援に入り、西中流の手際の良いやり方を伝授します。学校のひとつの伝統が形になる場面です。西中は縦割りの力をより、前面に出していきます!

令和6年度がスタートした
これからの君たちだ
失敗を恐れるな!
「失敗したらダメ...」
「失敗しても大丈夫...」
がんばれるのはどっちだ!

富士見市立西中学校 堀川 博基

校舎内をふらふらしながら生徒たちと話す。■1年生には「中学校楽しいか?」と聞く...。ほとんどの生徒が「超楽しいです」と答えてくれる。「何が楽しい?」と聞き返すと...。「部活、学級、休み時間、給食、体育祭練習、そして授業も...」との答が笑顔と共に溢れ出てくる。いま1年生は何をやっても楽しいようだ。今後、様々な壁に直面し、心が沈むときもあるだろうが、今のこの気持ち(初心)を忘れないでほしい。■2年生には「どうだ?新年度のスタートは?」と聞く...。「まあまあです」「思ったよりいいです」「修学旅行楽しみです」等、中学生生活1年間経験しての見通しのある答が返ってくる。ただ一番多い答は「校長先生、4階きついっす」だ。毎日の上り下りも2年生として西中の中心に立つための修業でもある。■3年生にはわざと「もう進学希望校見つけた?」と聞く...。私としては「まだ決まっちゃいません」「これから考えます」等の答で十分なのだが...。「いま、2校候補があります」「決まっているんですけど、成績が...」「〇〇高校の〇〇部に入りたいんです」等具体的な答がかなり返ってくる。3年生への進級が将来を意識する自覚を生んだのかも知れない。■みとせの生徒には、その都度「何をがんばったの?」「何が楽しかったの?」と具体的な質問を投げかける。自分なりに考え、がんばった、楽しかった場面そのものを具体的に答えてくれる。上級生になればその内容もさらに明確になり、行動も心も大きな成長が感じられる。

各学年の発達段階にあった順調な新年度のスタートが感じられる4月であった。その船出は「前途洋々」に感じられるが...。現実にはそんなことはあり得ない、波風が立ち「波瀾万丈」であるのが人生だ。この1年どう生きるのか、志は固まったのか...。もう何をやるのか迷う時は終わった。今からは、実現のために歩み出す時間だ...

■『不可能の反対は、可能ではない。挑戦だ! (ジャッキー・ロビンソン/黒人初のメジャーリーガー)』/実現するためには挑戦しなければはじまらない。■『まず走り出せ!問題は走りながら解決しろ! (漫画『島耕作』から)』/課題が見えてきたら、進みながら考え解決していけばいいんだ。■そして『消極的に成功するより、積極的に失敗しよう (鈴木健二/元NHKアナウンサー)』/自分にやりたいことがあるのであれば、大胆に攻めろ! ■『失敗は成功のマザー (長嶋茂雄/巨人軍終身名誉監督)』/失敗から生まれたり、成長するものはたくさんある。■『私は今までに一度も失敗をしたことがない。ただ電球が光らないという発見を2万回したただけだ (トーマス・エジソン/発明家)』/失敗の積み重ねが、ただひとつ成功への近道だ。

令和6年度のスタート、君たちの「志」を実現するためにも、まずは「挑戦」しよう。授業だって、体育祭だって、部活だって、毎日登校することだって、試験だって、係だって、委員会だって、給食当番だって、清掃当番だって...毎日の生活だってあえてハードルにして挑戦してみよう。まずは動き出すこと、そして結果は...失敗したってかまわない。今の君たちの失敗は次の成功のためのエネルギーにしかならないのだから...。小さいうちに失敗を重ねた若者ほど、将来周りの人に好かれる人間になるらしいよ。令和6年初夏の西中も楽しみだ!

令和6年度 6月 の予定

日	曜	活動内容等
1	土	
2	日	
3	月	安全点検日
4	火	学校朝会 生徒総会リハ 小中連絡会
5	水	3校合同災害対応訓練 部×
6	木	歯科検診 1回学校運営協議会 生徒総会⑥
7	金	通信陸上県大会
8	土	通信陸上県大会
9	日	
10	月	
11	火	表彰朝会
12	水	専門委員会
13	木	
14	金	防犯パトロール
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	生徒朝会 (学総勝つぞ! 壮行会)
19	水	西中学区青少年健全育成推進協議会
20	木	学総入間東部大会① ソフトボール会場
21	金	学総入間東部大会② ソフトボール会場
22	土	学総入間東部大会③
23	日	
24	月	学総入間東部大会予備日
25	火	学年朝会
26	水	中央委員会
27	木	試験前諸活動停止 (~7/5) 部×
28	金	学総水泳予選会 防犯パトロール
29	土	学総入間地区大会
30	日	

■6月は入間東部大会が実施されます。部員たちは試合会場に自転車で行くことになります。選手以外の生徒は、朝出欠確認の後下校となります。会場への応援は固く禁止されていますので、会場に行ってその部活に迷惑をかけないようにしてください。

GW...ほっとひと息つきつつも... まずは安全・安心な生活を

いよいよ明日からGWだ。4月8日から走り続けてきた生徒諸君にとっては、心待ちにしていた人も多いことだろう。部活動や塾等もあるかも知れないが、まずは自分の心がほっと息づけるようゆっくりしてほしい。しかしながら、毎年のように悲惨な事故が起きるのもこの時季だ。安全な生活だけは心がけてくれ。合い言葉は「自分の命は自分で守る」。

■交通事故/知っているか...埼玉県の子供の飛び出しが原因の交通事故は5年連続ワースト日本一なのだそう。キーワードは、飛び出し、自転車の乗り方、ヘルメットだ。

■SNS、スマホ等のトラブル/デジタルタトゥー、闇バイト、誹謗中傷、いじめ...。今、悲惨な事案の入り口はすべてといっているほど、スマホを介してのケースが多い。保護者の方も見届けをしてほしい。

■健康で安全な生活を意識して/5月8日からは本格的な体育祭練習が始まる。体調を維持していないとみんなについていけないぞ。GW中の体調はしっかりと自己管理してほしい。家族と過ごしても...海・川・山の事故、交通事故と危険に遭遇する可能性はある。繰り返す「自分の命は自分で守る」。そんな意識をしっかりと持ててほしい。

■勉強好きで何がわるい/前年度の復習を進めるには、よいタイミングのGWだ。少しくらいは勉強してもいいんじゃないの。GW中生徒にかかわる緊急事態があれば、休日と同じように【富士見市役所▶西中へ緊急連絡要請】を活用してください。

勇往邁進 百折不撓 精神一到 勇気凛々 先手必勝 群雄割拠 赤青黄緑 西中のでっぺんは〇色だ!

令和6年度富士見市立西中学校結団式

まずは伝える...この結団式によりつながった縦割りで色団は、決して体育祭のチーム分けのための結団ではない。この1年間、西中での生活を共にする仲間をまとめ、体育祭は元より、合唱の練習に本番、給食や清掃等の生活でのかわり、場合によっては補習の学習支援まで支え合う「証」の色だ。つまり、この結団式で決定した色は、この1年間のあなた自身を象徴する「色」となる。それだけの思いを持って先輩・後輩を支え合ってほしい。3年生は言わずと知れた学校の「顔」だ!今年度の西中の評価はすべて3年生の評価でもある。2年生は1番大変だ...先輩を支え、後輩を引き上げなくてはならない。あなたたちの双肩に西中の運命はかかっている。1年生、思いっきり先輩を「あおれ!」そして「たよれ!」。先輩たちはあなたたちの「あおり」なんか以上にびくともしないぞ...!各学年の思いがひとつになり、紡がれるのが西中の絆であり伝統だ。各団の全力が西中をひとつにする。4色が混ざり合い、どんなコントラストを見せてくれるのか...もう期待し

学年\色	赤	青	黄	緑
1年	1組	3組	4組	2組
2年	1組	4組	2組	3組
3年	4組	3組	2組	1組

かない!46名の教職員も全力であなたちを追いかけて行くぞ!
西中生に「行事をがんばれる?」と聞くと、ほぼ全員が「がんばります!」と答える。昨年度の学教評価生徒アンケートでも、「学校行事は、仲間と絆を育て充実している」という質問に対し、95.8%の生徒が「そう思う」と答えている。18 質問中第2位のハイスコアだ。この数字が「偽り」でないことをしっかりと証明してほしい。西中生に「西中のよいところ」を聞くと、必ず「行事が盛り上がる」と答が返ってくる。自分たちの思いが真実であることを自分たちで確認しろ...体育祭に真剣に取り組むために...そのコツを3つ伝える。

仲間 『信じてるよ、お前ら (ハイキュー/及川徹)』/体育祭はひとりではできないわけがない...仲間を信じなければ勝利などあり得ない。

自分 『俺はもう!!二度と負けねえからな... (ONE PIECE/ロロノア・ゾロ)』/「やってやろう」という自信。自分を信じること...

粘り 『あきらめたらそこで試合終了ですよ (スラムダンク/安西監督)』/もうみんなが知っている名言...まさにこのとおり...すべてのことはあきらめたらそこで終わり...。漫画からでも学べることはたくさんある。体育祭の期間中くらい、走って、走って、走り抜いて、疲れたら...また走れ!君たちに期待する!



▲今年の体育祭を引っ張るの団長4人 ▲思いどおりの色を引き当てたか!

今年度の西中生は地域に貢献する...中学生は社会、地域の立派な一員

写真は4月21日(日)に富士見市子どもフェスティバルにボランティアで参加した生徒会の生徒たちだ。市長さんや教育長さんが「中学生の力が支えになる」と声をそろえていた。西中生は昨年度も地域清掃、お祭、吹奏楽部の演奏等と地域の活動に参加していたが、今年度もさらにその輪を広げたいと考えている。中学生がいそがしいのは十分に理解しているが、何らかの形で地域貢献を



てみると、今までとは少し違う富士見市が見えてくるかの知れない。*

いろいろな意味で記録に残る活動だ。やって「損」はないと思うが...。みずほの丘の希望